

栄養士のQ子さんと建築士のA夫さんは仲の良い夫婦。

二人の仕事は一見何の関係も無いように思えます。

ある日Q子さんは「有機農産物」と建築がとても深い関係があることを知ってA夫さんに是非聞いてもらいたいと思いました。次の日の午後、リビングでくつろぐ二人の会話をご紹介しましょう。

Q子 ねえ、「有機農産物」って知ってる？

A夫 ああ。無農薬や化学肥料を使わないで野菜やお米を作るやつだろ。安心な食糧で安心して食べられるからいいんじゃない。

Q子 じゃあ、それが建築と関係あるってことはご存知？

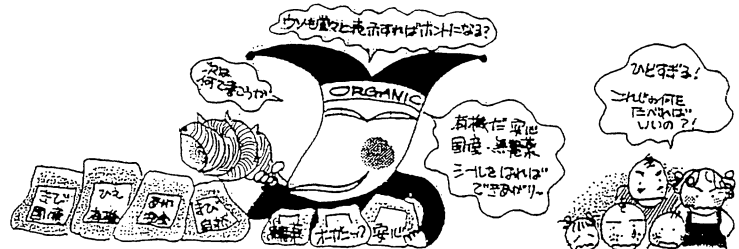
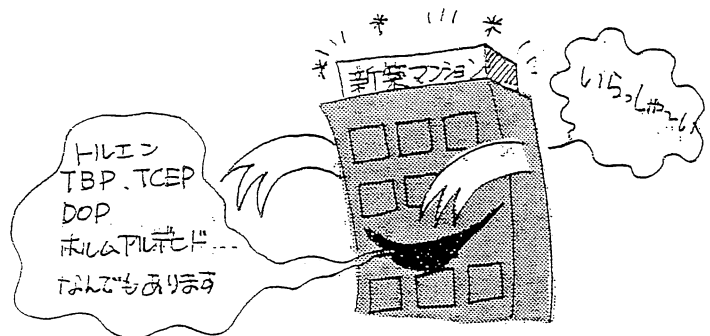
A夫 えっ！なんで建築が有機農産物と関係があるんだい？倉庫や工場野菜を作っているならともかく。農産物は畑や田んぼで作るものじゃないか。

Q子 それが、深い関係があるのよ。

最近食品の安全性についてすごく関心が深まっているでしょう？

0-157や雪印乳業の問題のように危険なもの食品に混ざっていたり、雪印食品や全農みたいに賞味期限や原産地などの表示がウソだったりで、消費者はあきれかえっているのよ。その点「有機農産物」は安全で安心な食品の目安と思われていたのよ。

A夫 僕もそう思っているよ。少しくらい高かったり見かけが悪くても自分の家族には安全な物を食べさせたいしね。



Q子 でも「有機」というのもちよっと前までは青果市場でシールが売られていて、このシールを貼れば高く売れると考えた一部の小売店や流通業者の人が、有機栽培じゃない野菜と一緒に買っていたのよ。化学肥料や農薬を使った野菜がシールで「有機野菜」に化けていたの。

A夫 本当かい？それじゃあ詐欺じゃないか！

Q子 残念ながら本当なの。

そこで「本当の有機農業」や「有機食品」はどのような方法で作られなければならないかを法律で定めて、その通りに作られないのしか表示できない制度ができたの。きちんとした方法で作られた有機農産物には農林水産大臣が指定した認定機関が検査認定した事業者だけが「有機JASマーク」を付けられるようになったのよ。

A夫 それなら安心だ。市場で売っている「有機」のシールにはだまされないようにしなくっちゃ。

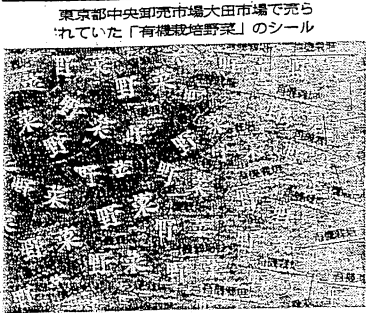
Q子 そうね。でも、あらたな問題がわかってきたの。

それは海外で同じような有機栽培をした小麦などの輸入農産物からわかったことなんだけど、無農薬で栽培した農産物から農薬が出てきてしまったの。原因はなんだと思う？

A夫 なぜだろう？もしかして海外の認定がウソだったの？

Q子 いいえ。食品の安全性については海外のほうが日本よりも関心が高いところもあるのよ。実は海外から運ばれる船の中や、一時保管される倉庫で農薬に汚染されてしまったことがわかったの。

食 有機農薬の現場から



東京都中央卸売市場大田市場で売られていた「有機栽培野菜」のシール

「有機栽培野菜」のシールが貼られた野菜の箱が、東京都中央卸売市場大田市場の一角に並べられていた。シールには「有機栽培野菜」とあるが、中には農薬が検出されたものも含まれていた。消費者はシールを見て安心して購入しているが、中には農薬が検出されたものも含まれていた。

信じてたい生産者の「良心」
「有機栽培野菜」のシールが貼られた野菜の箱が、東京都中央卸売市場大田市場の一角に並べられていた。シールには「有機栽培野菜」とあるが、中には農薬が検出されたものも含まれていた。消費者はシールを見て安心して購入しているが、中には農薬が検出されたものも含まれていた。

A夫 その話は記憶にあるなあ。確かに穀物を運び船や貯蔵倉庫はネズミや害虫を駆除しなければならぬだろうからなあ。

Q子 そうなの。せっかく生産者が無農薬・無化学肥料の有機栽培を一生懸命にやって作っても、消費者の手元に届く途中で有害物質にさらされたら努力が水の泡になってしまうでしょ。

A夫 その通りだね。だんだん建築とのつながりが見えてきたぞ。

無農薬の表示

「無農薬」の表示は、農薬の使用を禁止している農産物のことを指す。しかし、農産物の生産から消費までの過程で、農薬が検出された場合は「無農薬」の表示は認められない。消費者は「無農薬」の表示を見て安心して購入しているが、中には農薬が検出されたものも含まれていた。

Q子 そこで、農林水産省は「有機農産物」を生産して「有機」という表示をした人達と「有機」の表示を信じてそれを買いたいと思っている消費者のために、「有機JAS法」という法律を作ったのよ。

それは平成12年の農林水産大臣告示第59・60・818・819・820・830号などなんだけど、そこには生産から消費者の手に届くまでの運搬・貯蔵・加工・小分け・包装・輸入などの段階で、有害物質にさらされないようにすることが要求されているの。

A夫 そこで、僕の出番がくるんだな。

有機農産物がいろいろな施設で有害物質にさらされないような、建物や建材の知識が必要になってくるんだね。

Q子 最近「健康住宅」がはやっているから、僕の知識でも対応できそうだね

Q子 きっと建築士の力が必要だと思うわ。

農業をやっている人や、食品加工をしている人に建材の見分け方を知っている人なんかいないもの。

A夫 そうだね。

よく使われている合板一つとっても「ホルムアルデヒド」という有害物質が出るんだよ。
こんなことはおちおちのことじゃないさ。

Q子 「シックハウス」で問題になるから今なら普通の人でも知っているわよ。

それに、今学校じゃ「シックスクール」まで心配されているのよ。塗装やワックスにも有害化学物質が含まれていて、それで具合が悪くなる子供がいるのよ。校舎の内装は建築士が指定しているんですよ。責任を感じないのかしら。

A夫 それはそうだけど、建築基準法という法律に沿ってやっているから、問題はないだろう。

Q子 あら。建築士って案外無責任なのね。自分が立てた校舎で子供が具合悪くなったら建材を指定した人の注意が足りなかったと思うんだけど。

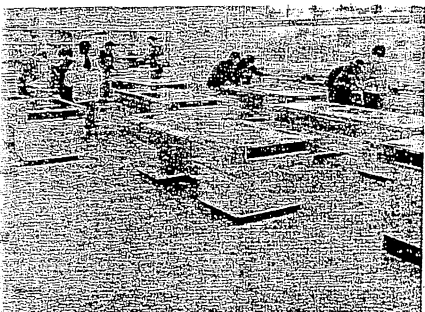
建築士の多額なシックハウスの検査費用は、文部科学省が負担している。新年度からホルムアルデヒドの検査費用は、学校側が負担する。これは、学校側が指定した建材の検査費用を削減しているから、問題はない。

シックハウス 学校から追放

仙台・七郷小

天然ワックス使用

化学物質少ない建材選が



室内天然ワックスが塗られた新校舎の家内風景
＝仙台市七郷小

仙台市七郷小の校舎は、平成14年に完成した。校舎の床や壁には、ホルムアルデヒドなどの有害物質が少ない建材が使用されている。また、床には天然ワックスが塗られている。これは、ホルムアルデヒドなどの有害物質を削減するための取り組みの一環である。

市教委 他校へも広げる方針

シックハウス

建材・換気を規制

建築基準法を改正へ

住宅用建材などから出る化学物質が原因でシックハウスの被害が拡大している

対策として、国土交通省は17日、建築基準法を改め、化学物質を使った建材の使用を規制し、住宅への換気設備設置などを義務付ける方針を明らかにした。初めての本格的法規制となり、21日から始まる次期通常国会に同法改正案を提出する。また、住宅建材も

シックハウスの原因とされる化学物質については、厚生労働省が室内の濃度基準の指針を定めていた。また、住宅建材も

化学物質が出る産品が分かる等級分けが日本工業規格などで定められている。

また、換気が悪いと室内の化学物質濃度が上昇する恐れがあるため換気設備設置の義務化も盛り込まれた。

シックハウスで 2物質に指針値

建材などに含まれる有機化合物が原因で健康被害が起る「シックハウス」問題で、厚生労働省の検討会は、接着剤や防腐剤に使うアセトアルデヒドと殺虫剤のフェノカルブについて、室内濃度の指針値を決めた。アセトアルデヒドの蒸気は目や鼻に刺激を与えることが知られており、濃度の上限を1立方メートルあたり48マイクログラムと設定、フェノカルブは同33マイクログラムとした。

A夫 確かにそうだけど、建築には関係あるとは聞いたことがないよ。

Q子 ところが「有機JAS」には大有りなの。

その記号には防虫に使われた薬剤の種類も表しているんだって。

「フェニトロチオン」も使われているのがすぐわかるそうよ。

A夫 へえー！なんでお前がそんなことまで知っているんだい？

Q子 この間、「有機JASと建築」のセミナーを受けた人から教えてもらったの。

「有機JAS」の認定機関の人はこんなことも検査するそうよ。

だから、有機農産物はもっと安全になるから安心だって。有機農業を実践したい人や有機農産物の加工食品を売りたい人、思っている人たちは全国でたくさんいて、生産者や加工・流通業者が「有機JAS」の認定を受ける為の講習会にたくさん参加しているんだって。その人たちは当然施設の改善もするだろうから。

A夫 よし。いい話を聞かせてもらったよ。新しい分野のエキスパートを目指して僕も勉強しなくちゃ。

そのセミナーは建築家も受けてもいいんだらう？

Q子 受けてもいいというよりも、積極的に受けてもらいたいわね。

「シックハウス」や「シックスクール」だけでなく、食品の安全の為に大いに勉強してほしいわ。

建築家のみなさんにはもっと安全に対して認識を深めてもらいたいわね。

A夫 ところでセミナーはどこでやっているの？

有機JASの認定機関に問い合わせればいいのかい

Q子 認定機関は全国に60機関があるんだけど、認定検査が業務なので法律でコンサルティングは禁止されているの。

このセミナーをやっているのは有機JAS制度になる前から有機の検査認証の経験を重ねてきた認定機関が集まってできた「日本有機食品認定連絡協議会」に加盟している一部の機関だけなのよ。だから、協議会を代表しているところにお問い合わせしてみたら。

Q子さんは酒造会社のOL。

恋人のA夫さんは工務店に勤めていて設計の仕事をしています。

今度Q子さんの会社でリフォームが行われることになりました。

Q子さんは「A夫さんの会社が工事をしてくれるといいのになあ」と思っていました。

実はこの工事はとてもむずかしい問題を抱えていたことがわかったのです。

そこで二人の仕事に何も関係も無いように思っていたQ子さんでしたがA夫さんに

是非聞いてほしいと考えました。

Q子さんの酒造会社では「有機米使用純米酒」というヒット商品を販売していました。

次の休日のデートで交わされた二人の会話をご紹介しましょう。

Q子 今ね。うちの会社でリフォームの工事をしているの。

A夫 そうかい。僕の会社に仕事をさせてもらえたらうれしかったな。

今建築は不況だから、どんな小さな仕事でもありがたいだよ。

Q子 そうだと思っわ。うちの会社も景気が良くて工事をしているんじゃないのよ。

今までヒット商品だった「有機栽培米使用純米酒」を継続させるために工事をしているの。

全国で初めて!

酒造業界で初認定を受けた「有機米使用」の日本酒



有機農家の認定を受けた方たちが育てた、無農薬「有機米」を使用したオーガニック日本酒が完成しました。やや辛めのすっきりとした味わいが特徴です。



A夫 有機のお酒って、あの無農薬・無化学肥料で育てたお米を使って造るお酒のことだろっ。

Q子 そうよ。うちのヒット商品なんだから。

おいしさと安全性でとても人気があるの。でも今度「有機栽培米」という表示をするのに「酒税法」の一部が改正されて酒類の有機基準ができたの。それで合板でできた麹室のリフォームが必要になったのよ。

A夫 えっ?なんで「酒税法」が変わる

と酒屋さんがリフォームをしなけりゃいけないのよ。

Q子 それはね、「酒税法」の改正で「酒類の有機基準」ができたからなの。

せっかくお百姓さんが有機無農薬でお米を作ってもそれを加工・流通する段階で薬品なんかの有害物質にさらされたら、せっかくの有機栽培のお米が農薬をかけて作ったお米と同じになっちゃうでしょ。それを防ぐために、貯蔵施設や加工施設なんかも改善しなくちゃ行けないんだって。

A夫 そうか。そう言われてみればたしかにそうだよ。

シロアリの駆除をした家では、米びつの中のお米が農薬に汚染されたって話を聞いたことがあるよ。

薬剤は直接かけなくても空気に含まれて家の中にたまたまよってしまっただ。

Q子 さすが設計士さんね。

住宅が住む人の健康に影響を及ぼすように、私達の会社では建物がお酒の健康に影響するということらしいの。

A夫 それは、本当のことだと思っよ。

今、家を建てようとする人は、とつてもよく勉強していて、住宅メーカーが実施したアンケートでも、関心があること的第一は「建材の臭いや有害な化学物質」とう結果が出ているんだ。

Q子 うちの社長の奥さんもそれにすごく関心があるみたい。

とくに子供やお年寄りの健康に深く関わってくるでしょ。家に居る時間が長いし、健康面でも私たちの年代よりも注意は必要だしね。

A夫 よく「段差を無くしたから安全ですよ」とか「全館暖房で温度差無し」が「健康住宅」だと言っている会社があるんだけど、それはまず住まいの中で健康に生

活できてからの問題なんだよ。有害物質があったら「バイヤフリー」でも「温度が快適」でも住めないと思うんだよ。

Q子 その通りね。

A夫 だから、24時間換気で新鮮な空気を入れるシステムが必要だと思っんだよな。

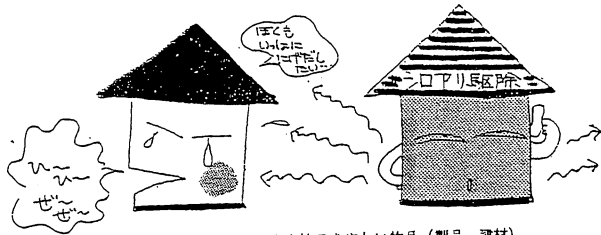
Q子 そこが実はあなたの会社にお仕事を頼まなかった理由のようよ。

A夫 えっ！どうしてき。今これが一番いい方法だと認められているはずだよ。うちの採用している換気システムはこのメーカーにも絶対負けないはずなんだけどな。

Q子 実はあなたの会社が建てたお家がうちの工場のすぐ近くにあるでしょ。

A夫 あるある。君の会社の毒室課長さんの家だろう。

Q子 そうよ。あの家からはいつも換気された空気が出てるでしょ。



【資料】住宅建材で安全性のあやしい物品（製品、建材）

品名	どんな物に多いか	使用されている薬品・化学物質	薬品等に変わる物(素材)	危険性
防虫加工剤の材木	①ラワン材や南洋材外材 ②土台に使用される木材 CCA加工 105×105に多い ③フロー（床材）合板	防虫剤 ホルマリン（ボンドに含まれる） クレオソート系 etc 銅、クロム、ヒ素化合物 ホルマリン 防虫剤	①、③ 製造から変えさせるしかないが、防虫加工してないものもあるので大工さんと相談すること。しかし、あまり期待しない方がいい。大工さんも気にしていない人が多いので、 ② できるだけ国産の検ひばを使用する。	①、③ B~C 長期間にわたり出続ける。 アトピーの人は気をつけよう。 ② D
合板	コンパネ ベニア シナベニア フロー床材 チップ合板	ボンドに含まれるホルマリン 可塑剤	手だてなし（製造していません）安全性の高いものの製造を促進するしかない。 F1はややまし。	長期間にわたり出続ける。 B~D
フラッシュ家具	カラーボックス 食器棚、etc	同上、化学物質 etc	同上 購入しないことなるべく上等の家具を買う。	同上 C
システムキッチン	つり戸や 本体、引きだし	ホルマリン 数々の化学物質	値段が高くてもしっかりです。	同上 食器にうつり、口の中へ入る。 C~D
外国製材木加工防カビ	米松 米トゴ ソビニ；材 カナダ材	防カビ剤 防虫剤	法ができれば無理。カビもこわいので、安全性の高いものにかえてもらうしかない。	B
電柱材 マフラギ材		六価銅 クレオソート剤 etc ダイオキシンも燃やすとかなり出る。	再利用ブームと安いということで使用する人が多くいるが、これほど危険性の高い材木はないのでやめておく。地下水もよごす。	長期にわたって出続ける、病人・子供・アトピーの人は注意。 D
断熱材	ガラスウール ロックウール 発泡ウレタン セルローズファイバー	吸い込むとタンや鼻水が出る。体にテクテクさきり赤くかぶれる人も多くなる。アスベストに近い製品。 ※ハウサン、吉紙が入っており、とても危険。エコマークの標子があり問題が大きい。この製品でひどいアレルギーを起した人がいる。	ガラスウール、ロックウールは封じ込めたら生活者には問題なし。発泡ウレタンは火災時に有毒な窒素ガスが発生するので注意（D）	施工中 D 施工後 A

危険性のランク：A-施工方法によってはややまし、B-やや危険、C-危険、D-とても危険

A夫 そうだよ、あの家を建てたころは今みたいに健康住宅の知識が無かったんだ。「高気密・高断熱」に「計画換気」があれば最高の設備だったんだ。

Q子 実は今度の「有機JAS法」や「酒類の有機基準」では、周辺環境からの影響も考慮されるのね。

たとえば、工場が林檎園なんかの近くにあれば、どうやって農薬の工場内への流入などを防ぐかを、きちんと規定しておかなければならないの。

新築の家で「シックハウス」みたいなのが近くにあれば、そこからも何か有害なものも飛んでこないとも限らないわ。もともと換気というのは「室内空気汚染」を「大気汚染」にしたようなものでしょ。

A夫 きびしいな。でもその言葉でもおもしろいことを思い出したよ。環境問題に取り組んでいる人の講演会で聞いたんだけど。

Q子 あら。どんな話？

A夫 その人はもともと翻訳家で、海外の環境問題の書籍を翻訳しているうちに、実際に環境問題に取り組むようになった人なんだ。

Q子 海外の情報を真っ先に知ることができるんだから、ショックも大きいでしょうね。

A夫 その人が日本語の「水に流す」という言葉を英語に翻訳しようとして、ふと気がついたそうなんだ。汚いものを川に流せば下流の人達が困るということわ。

Q子 たしかにそうね。

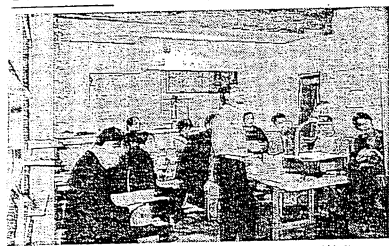
オゾン層の破壊や地球温暖化も「次世代が困る」という点では「水に流したツケ」じゃないかしら。

A夫 その通りだね。だんだん必要なりフオーム方法が見えてきたぞ。

Q子 「有機JAS法」や「酒類の有機基準」が変わる前は、「有機」という表示の食品やお酒が何百種類もあったんだけど、今はきちんと農林水産省から認定業務を委託された機関から有機認定のお墨付きをもらわないと「有機」という表示は使えないの。うそだと思ったらスーパーで見て「らんなさい。納豆や豆腐なんかで「有機」を目にしたら、「有機JAS」と表示してあるわよ。

A夫 よし。今度スーパーに行ったら見てみよう。今回の工事はどこに頼んだんだい。

健康住宅の実現は適切な建材選択から



今後の時代の流れについて解説する吉原氏(中央)、左端は寺澤氏

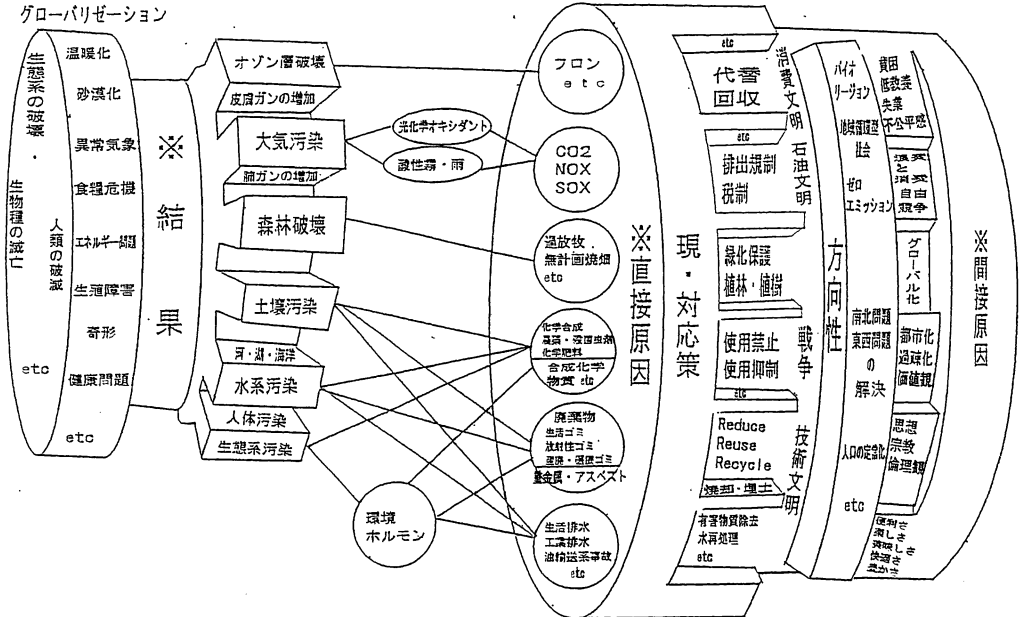
健康住宅の設計・施工管理がますます重要になる。健康住宅の設計・施工管理がますます重要になる。健康住宅の設計・施工管理がますます重要になる。

有機JAS法と建築物等汚染でセミナー

健康住宅の設計・施工管理がますます重要になる。健康住宅の設計・施工管理がますます重要になる。健康住宅の設計・施工管理がますます重要になる。

健康住宅の設計・施工管理がますます重要になる。健康住宅の設計・施工管理がますます重要になる。健康住宅の設計・施工管理がますます重要になる。

健康住宅の設計・施工管理がますます重要になる。健康住宅の設計・施工管理がますます重要になる。健康住宅の設計・施工管理がますます重要になる。



人類滅亡 → 環境破壊 → ブラックボックス → パテント → 経済中心のグローバリゼーション

Q子 社長の知り合いの工務店なんだけど、うちの会社が「有機JAS」の講習会を受けるときに一緒に連れて行ったのよ。

A夫 そんなセミナーがあったのか。僕の会社はもう手遅れかな。

Q子 そんなことないわ。建築関係の受講者なんて全然ないんだって。

第一「有機食品と建築」が関係あるなんて、どこの建築屋さんだって考えちゃいないわよ。

A夫 そうかなあ。

Q子 そうよ。わたしだってあなただから教えているのよ。

A夫 これからあなたの会社にきつと役に立つと思っただから。

A夫 そうか。それもそうだね。ありがとう。ところで、「有機食品と建築」のセミナーはどこでやっているんだい。

Q子 それはね。農林水産省から認定された機関が集まってできた「日本有機食品認定連絡協議会」に加盟している一部の認定機関だけだそうよ。

A夫 そうか。もう10年近く前からコーデックスなどの国際規格に係わる建築と健康や環境の事について情報発信をしていたら。

Q子 もともと、食べ物の安全について熱心に活動していたから、建築との関連についての情報が間口も奥行きも広いんだって。

A夫 すいぶん早くからやっているんだ。きつとそういうところの活動が、今の日本の建築を変えてしまったんだろうな。

A夫 そうか。「日本有機食品認定連絡協議会」か。僕もそこで勉強しよう！

**健康な住まいを
手に入れる本**

小笠原 一高 橋元 相根昭典 編著
 (監修)

足立和郎 (監修)
 池田 博 (監修)
 橋本 浩 (監修)
 橋本 浩 (監修)
 橋本 浩 (監修)

commons

住まいの高性能買手ガイド!

有機JASと建築 パート3

Qさんは59歳の会社員。もうすぐ定年退職です。こんな不景気でもなんとかここまで努められたのも、妻のA子さんがとてもよく食事に気をつけて健康に配慮してくれたおかげと感謝しています

週末には郊外の農家へ行って無農薬の野菜を直接分けてもらったり、お米もできるだけ農薬を使っていないものを買っていました。Qさんには退職後のささやかな夢がありました。

Q「お母さん。ちょっと相談があるんだがね。」

A「なによ。かしこまって。」

Q「実は退職後の計画のことなんだが…」

A「あら、会社の嘱託で5年間は働けるといってたじゃないですか？」

Q「それが、今は事情が変わって再就職はできなくなりましたんだよ。」

A「それじゃあ、どこか捜さなくちゃいけないってことね。」

Q「でもね、いまはどこの会社も採用条件は厳しいし、新規の仕事やコンピューターを操る能力には自信が無い。

ハローワークのパソコン講座なんて、まったくの初歩で実際はまったく役に立たないらしいし、「この年では少しくらい憶えたつもりでもすぐ忘れてしまう。」

A「で、どうするつもりなんですか？」

Q「無農薬の野菜やお米を売るお店をやりたいと思うんだよ。」

A「あら、私は大賛成よ！ 私たち何軒もそう言う野菜なんかを作ってる農家の人たちを知ってるし、多めに買ってきた時はご近所の人にも分けてあげていたの。」

農家の人にもきつと喜んでもらえるわよ。

それに、これからの人生は健康や環境のためになることがしたいとずっと考えていたのよ。

さすが、私の旦那様だわ。」

Q「退職金を元手に、この家をリフォームしてお店にしようか？」

A「そうね。でも、リフォームする時は十分に気をつけなくちゃね。」

Q「そうだね。地震に強く、お年寄りがつまづいたりしないようにとか…」

A「それも大切だと思うけど、もっと大切なことがあるのよ。」

Q「そうだ。お店は事業用資産になるんだからできるだけ安く造らなくっちゃ！」

A「あら、あなたそんな考えは、真直ぐな胡瓜や農薬をかけた野菜と共通の発想よ。なによりも安全なことが最優先でしょ。」

Q「だから、バリアフリーとか、耐震性とかには当然注意するよ。」

A「あら、案外分かってないのね。何か忘れてない？」

Q「あっ、そうだ。シックハウス対策か！」

A「そうそう。無農薬野菜を売るならね！」

Q「僕たちが健康じゃないとね！」

A「あーら、やっぱりわかかってない。それだけじゃなのよ！」

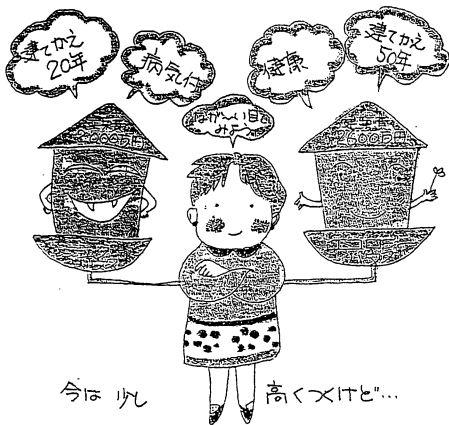
Q「なにが分かってないって言うんだい？」

A「有機の食品を売るにはお店も農薬による汚染をなくさなければならぬのよ。」

Q「そんなことは心配しなくても大丈夫だろう。」

A「農薬は畑や田んぼに使う物で、リフォーム用の農薬なんてどこにも売ってないんだから。」

A「ところが、姿を変えて住まいの中に潜んでいるのよ。畳の防虫シートや合板の防虫処理剤。」



Q「だったらそんな建材を使わなければ良いんだね。」

A「農薬だけじゃないの。」

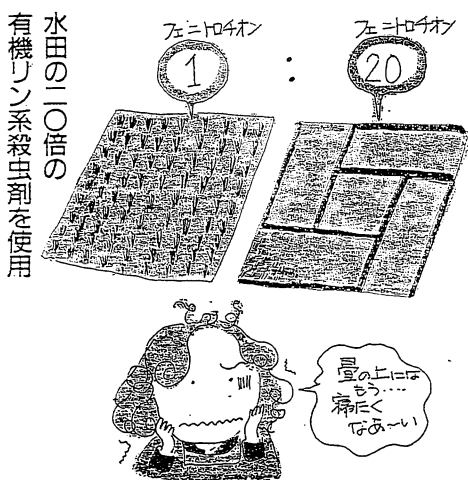
A「有害な化学物質に触れないように他の建材も注意しなければならないのよ。」

Q「なぜだい？」

A「それはね、有機食品の国際規格である「コーデックスガイドライン」で汚染に係る各国の關係法規を遵守することになっているからなのよ。」

ほとんどの公共住宅の工事仕様書には、畳の中に防虫加工紙を使用することを定めています。したがって、普通に入手できる畳は、ほぼ確実に農薬が使用されていると考えられます。

さらに、畳に注射針を刺して薬剤を注入するタイプ、畳やじゅうたんの下に敷き詰める防虫シートタイプの殺虫剤も、よく見かけます。それらの薬剤のほとんども農薬と同じ成分です。



Q「コーデックス？」

A「そうなの。日本国内では『有機』というと、野菜なんかの『作りかた』の問題だったんだけど、95年発足のWTOに加盟した日本を含めた各国は同等性を求める国際規格の中で『有機』で作られたものが『消費者の手に届くまで有機』でなければならなくなったのよ」

Q「じゃあ、僕たちのお店も『有機』なお店にしなくちゃならないってわけか？」

A「そうよ。建物に使われる有害化学物質も有機野菜を汚染する可能性があるから」

Q「ずいぶん厳しいね。」

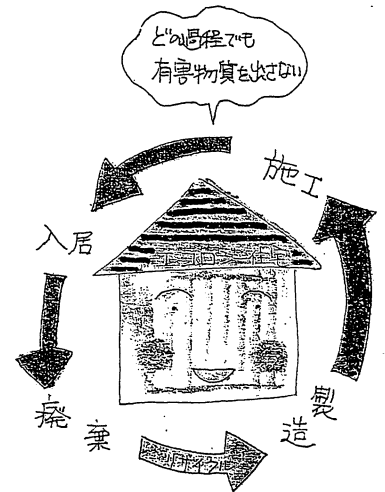
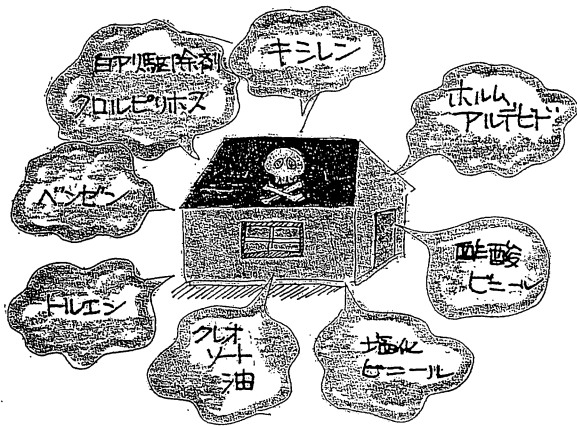
A「そうよ。厳しいから消費者が安心して食べられるわけでしょ。」

Q「確かに自分が買う立場だったら、厳しい基準をクリアーしたお店のほうが良いけれど、厳し過ぎれば誰もできないんじゃないの？」

A「でも、今『有機JAS』の表示をしている食品加工メーカーは、工場や周辺環境を含めて有害化学物質に触れないようしているのよ。」

Q「へえー、それは知らなかった。お前はどこでそんな情報を聞いたんだい？」

A「日本有機食品認定連絡協議会」という認定機関の団体が主催するセミナーで聞いたの。」



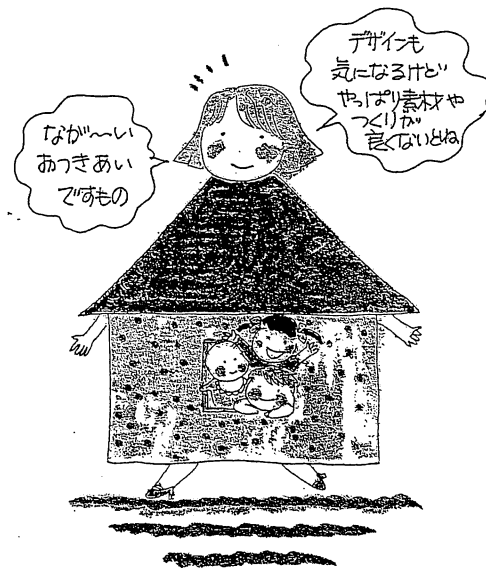
Q「日本有機食品認定連絡協議会？」
なんだいそれ？」

A 農林水産省に登録されている有機食品の検査認定機関の団体よ。

もう10年も有機JAS法の施行以前からこんな問題に取り組んでいて全国的にも高く評価されているの。食品の安全だけでなく生活全般に係る環境汚染の関連性を取り上げているから、生産された食品が消費者の手に届くまで、どうすれば安全性が保たれるかよく知っているの。」

Q「たとえば、どんな建材に問題があるんだい？」

A「そうね。化学合成の塗料やワックスに接着剤、塩ビのクロス、合板や床下の防虫処理なんか問題ね。」



Q「替わりになるものは有るのかい？」

A「有るわよ。」

自然塗料や天然ワックスに天然接着剤、エコロジークロス、天然防虫剤。」

Q「へえー！でも値段が高いんだろっな？」

A「詳しくはよくわからないけれど、有害なものが安いからと言って、それを基準に考えることが間違っているのよ。」

Q「確かにそうだね。これからは違反した業者への罰則もずいぶんきびしくなるようだし。」

A「そうよ、罰金の上限が30万円から1億円になったんだから。」

Q「もし、ロト6で1億円当てても、全部パーだね。」

A「そんなの当たるわけないけど、違反すれば罰金なんだから！」

Q「なんかやるのが面倒になってきたなあ。」

A「大丈夫よ。」

これからは正直に本物を求めてやっていけば必ず良いことがあるはずよ。」

Q「僕はもっと勉強しなければ自信が無いよ。」

A「だったら、『協議会』に加盟している認定機関が主催するセミナーで勉強しましょう。その時にリフォームを頼む大工さんにも来てもらいましょうよ。」

Q「大工さん？」

A「そうよ。私たちだけが勉強しても、実際に工事をする人たちがちゃんぷんか

んぷんじゃ困るもの。」

Q「そうか！それがいいね。」

A「よし、我が第二の人生の夢が見えてきたぞー！」

Q「それじゃ、貴方これからも二人でがんばりましょうよ！」

(パラジクロロベンゼンの大気環境レベル)

防虫剤を売った住居内	57.2	1986
横浜国立大学構内	0.11	10.1
国道沿路上	6.4	14.0
石油化学工業地域	0.59	4.8
山崎部	0.017	

nd=検出せず 濃度ppb

出典：花井雅道、加藤隆夫「α-ジクロロベンゼンの大気中動態」『横浜国立大学研究紀要』12巻1号、1985年

化学物質過敏症

- 頭痛 ●めまい
- 吐き気 ●視力低下
- 手足のしびれ
- 起立性調節障害
- 不眠など

(化学物質の量と健康度)

死亡 疾病の発症 半健康状態 健康状態

アレルギー

ぜんそく ●花粉症悪化

室内汚染 大気汚染 化学物質 食物汚染

防虫剤で呼吸困難

往診の依頼があり行ってみると、パラジクロロベンゼンの臭いの中で、7歳のS君はひどく咳き込み呼吸困難状態でした。その部屋には防虫剤を入れ替えたばかりのタンスが並んでいたのです。68歳の女性Kさんが呼吸困難になったのは、無臭性の防虫剤を使い始めてからでした。どちらも防虫剤をすべて除去したら間もなく症状は軽快しました。

血液中にパラジクロロベンゼン

一家5人全員にぜんそくやアトピー性皮膚炎の症状がある家族がありました。血液検査をしたところ69歳の祖母のトリクロロアタリ11ng(ナノグラム)を最高に、最低の5歳の次女でも3ngと全員の血液からパラジクロロベンゼンが検出されました。そこで、防虫剤の使用を一切止めさせたら、症状が劇的に消失したのです。防虫剤で健康を害している例は少なくありません。

寺澤政彦先生(仙台市)

青山美子先生(前橋市)

有機JASと建築 パート4

Qさんは不動産屋を営んでいます。
今度のお客さんのAさんはちよつと変わったお客さん。

食糧品店をやりたくて空き店舗を捜しています。
その注文が変わっているのです。

Q「食糧品店の物件ですね。」

A「そうですね。健康に良い有機の野菜なんかを売りたいんです。」

Q「えっ？」

A「内装が合板のところもだめです。」

Q「それじゃ、できるだけ立地条件の良い場所をご紹介しましょう。」

A「私の希望の立地条件もあるんですが。」

Q「ほう？ なんでまたそんな変わった条件なんですか？」

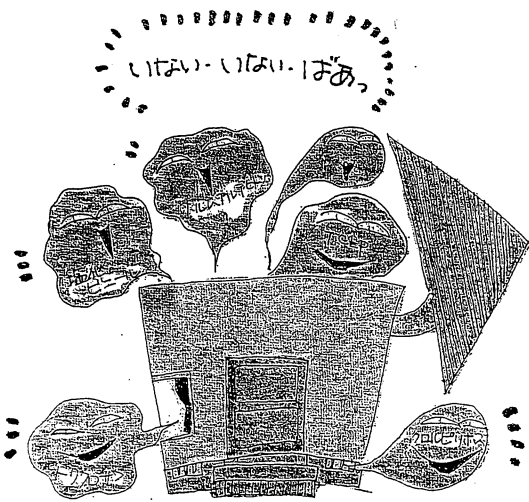
A「せっかく無農薬で作った作物を売るので。」

Q「だって、無農薬で作ってあればそれで十分じゃないですか。」

A「それが、十分ではないですよ。」

Q「近所にPRTRに係わるなんかの工場があつて、風向きによつちや有害化学物質が飛散して付くかもしれないけど、それはこちの責任じゃないじゃないですか。不可抗力つてもんでしょ。」

Q「お聞きしましょう。」
A「近くに有害物質を出すような工場や施設が無いことなんですよ。」
Q「そりやそうですね。」
A「それと、シロアリの駆除をしていない店舗がいいですね。」



A「ところがそういうわけには行かなくなつたんですよ。うちのお店では有機農産物を売るつもりなんですけれど、『有機』と表示して売るには店舗もある条件をクリアしなければいけなくなつたんです。」

Q「へー！初耳ですなあ。どんな案件なんですか？」

A「お客様の手許に届くすべての段階で、有害化学物質などに汚染されないこと。」なんですよ。」

Q「そんなこと誰が決めたんです。」

A「農林水産省がもう3年も前に法施行していたんですよ。」

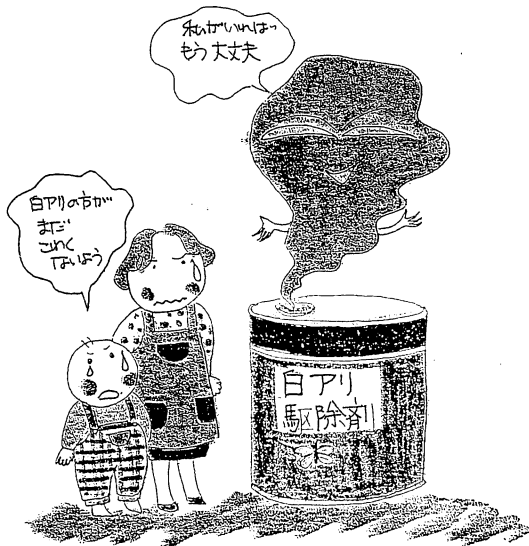
Q「でも、店舗は関係無いじゃないんですか。建物は建築基準法を守っていれば何の文句も無いはずですよ。」

A「それが大有りなんですよ。『シックハウス症候群』とか『新築病』ってきいたことがあるでしょ？」

Q「ありますよ。この前来たお客さんに『エコリフォームしたアパートはありませんか？』って聞かれましたね。娘さんが今度この町の大学に進学が決まったけど、アレルギー体質で、化学建材にも反応して具合が悪くなるって言うん

ですよ。『アパートは金儲けのための建物だからリフォームにはできるだけ見栄えの良い安物（化学建材）を使わざるを得ないんですよ』って教えてあげましたけどね。」

A「私の売る有機野菜なんかはそんな人たちでも安心して食べられるように農家の人が丹精こめて作ったものなんです。その野菜にシックハウスの有害物質が付いたら安心して食べられなくなるでしょう。」



Q「そうですねえ。そうすると安全な建物のガイドラインなんかがあったからその基準以下だったらいいんですね。」

A「ところがそうじゃないんです。『有害物質に汚染しないこと』ですから『濃度が低いから良い』というわけじゃないんですよ。」

Q「でも、建物のことは国土交通省の管轄でしょ。農水省が食べ物のことを決めて建物にまで要求するのは越権行為じゃないんですか？」

A「お役所は国民により良い生活環境や安全な食べ物を円滑に供給するのが目的なはずですから、縦割りを擁護するのは本末転倒ですよ。」

塗料が原因で湿疹が悪化、激しいせきや嘔吐



Q「実は、私もそう思うことが結構あるんですけどね。よし。この際エコリフォームとエコロジー貸し店舗をもっと研究してみよう。」

もともとアパート経営をしたり貸し店舗を持つてゐる人たちは、お金持ちで学歴もあつて社会的地位も高い人が多いんです。

筋の通つた話しなら理解してくれる人が多いと思いますよ。それにエコリフォームのアパートをさがしに来た人は『お家賃は多少高くてもかまわない』つて言つてましたからね。今はアパートも供給過剰気味だから何か特徴が必要だと思つていましたしね。」

A「それは良い考えだと思ひますよ。不動産屋さんという『地上げ』だとか『バブル』とか、なんとなく悪者のイメージがあつたけど貴方は結構まともな心をもつてゐるねえ。」

Q「ありがとつございませうというか、失礼なというか…(笑…)とこゝろでお客様さん。こんなことはどこで勉強したんですか。」

A「それはね『協会』に加盟している認定機関の主催するセミナーで勉強したんですよ。」

私も有機野菜の商売を始めようと思ふまでは知らなかつたんですけどね。情報のレベルが高くて深いからとても勉強になりますよ。それに新しい情報が得られるから自分の方向性を考えるのにとつても役に立ちますね。」

Q「ずいぶん持ち上げますね。」

A「なにしろ『日本有機食品認定連絡協会』が『法律こう変わる』という情報通りに農水省をはじめとする環境関係の法施行が変わつてゐるんですから驚きですよ。」

Q「そんな馬鹿な！ たかが認定機関の団体でしょ。」

A「そう思うのは無理もないけど、本当に勉強するならあそこですね。まづ今日の所はこれで失礼しますよ。」

Q「あつ、お帰りになる前にその『協会』の場所か連絡先を教えてください。」

建築作業現場の環境が非常に心配されます。たとえば、毎日多量の殺虫剤を床下に散布しているシロアリ駆除の作業員の健康を気遣わずにはいられません。

実際、国際ガン研究機関(IARC)の報告書には、発ガン性のある職業現場がリストアップされています。そのなかには、住宅建材に関係する職場がたくさん含まれていました。これは、現代の住宅の危険性を明らかにしているのではないのでしょうか。

私たちが健康な住宅を選べば、私たち自身のためだけではなく、危険な化学物質を扱つて仕事しなければならぬ作業員の負担を減らすことにもつながるのです。

